

令和元年度（第63回）船員労働安全衛生月間期間中の取組について

○船員災害防止大会

船員災害防止大会では、労働安全や健康に関する講習、優良事業者の表彰、安全衛生に関する取組の紹介、救命器具等安全保護具の展示等を行います。

地区	日時	会場(会場名・住所)	記念講演等
北海道	8月20日(火) 13:30～	釧路市水産センター マリントポスクしろ3F 釧路市浜町3-18	○「船員災害の現状について」 講師：北海道運輸局海上安全環境部 首席運航労務監理官 ○「洋上での応急処置について」 講師：釧路市消防本部 警防課
東北	9月9日(月) 13:30～	マリンゲート塩釜 3F マリンホール 宮城県塩釜市港町1-4-1	○「荒天時の走錨による事故防止策について」 講師：第二管区海上保安本部交通部航行安全課 瀬波秀喜 講師：運輸安全委員会東北事務所事故調査官 柳井英治 ○「安全衛生機器等の使用方法について」 講師：船員災害防止推進会
北陸 信越	9月11日(水) 13:30～	佐渡汽船(株) 4階会議室	○「船員保険で実施するコラボヘルスについて」 講師：全国健康保険協会船員保険部 平林良彦氏 ○「保護具の適切な着用について」 講師：第九管区海上保安本部上席機動救難士 江口康平
関東	9月6日(金) 14:00～	横浜第2合同庁舎1階共用会議室	○「船員保険で実施するコラボヘルスについて」 講師：全国健康保険協会 船員保険部
中部	9月10日(火) 13:30～	伊勢湾フェリー(株) 多目的ホール 2階会議室	○「船体放棄の際の注意、生き抜くために」 講師：船員災害防止協会本部 安全管理士 高本充氏 ○「膨張式救命いかだの取り扱いについて」 講師：船員災害防止協会本部 技術講師 関根猛氏
近畿	8月21日(水) 13:30～	舞鶴21ビル	○「メンタルヘルスセルフケア研修(心の健康を保つために)」 講師：日本産業カウンセラー協会関西支部 飯尾牧子氏
	8月28日(水) 15:15～	近畿運輸局海技試験室	○「荒天時の走錨による事故防止策について」 講師：運輸安全委員会神戸事務所長 澤木純一 講師：第五管区海上保安本部交通部航行安全課専門官 安藤洋
	9月13日(金) 13:30～	海南市下津港湾防災会館他	○「生存対策講習会」 座学「生き抜くために」 講師：船員災害防止協会 高本充氏 〃 実技「膨張式救命いかだの取り扱い等」 講師：船員災害防止協会 関根猛氏
神戸	9月2日(月) 14:00～	神戸第2地方合同庁舎1階第1会議室	○「荒天時の走錨による事故防止策について」 講師：運輸安全委員会神戸事務所長 澤木純一 講師：第五管区海上保安本部交通部航行安全課専門官 安藤洋
	9月2日(月) 14:00～	姫路ポートセンター5階会議室	○メンタルヘルスセルフケア講座 講師：日本産業カウンセラー協会関西支部 飯尾牧子氏
中国	9月12日(木) 13:30～	境港商工会議所 3階大ホール	○「船員保険で実施するコラボヘルスについて」 講師：全国健康保険協会船員保険部 平林良彦氏
	9月3日(火) 13:30～	東野文化センター大ホール	○「海の安全を目指して」 講師：広島商船高等専門学校 校長 辻 啓介氏
	9月12日(木) 13:30～	南ふれあいセンター 3F ふれあいホール	○安全講話「船舶事故について＝安全と事故例＝」 講師：日本船主責任相互保険組合 岡田卓三氏 ○衛生講話「検診結果を活かそう」 講師：南部健康づくり財団 保健師 後藤礼子氏
	9月13日(金) 13:30～	広島市南消防署水上出張所講堂	○「船舶事故について ～安全と事故例～」 講師：日本船主責任相互保険組合 岡田卓三氏
	9月13日(金) 13:30～	周南総合庁舎2階さくらホール	○「船員の健康と対策」 講師：神奈川大学 久宗周二氏
四国	9月13日(金) 10:00～	高松センタービル12階 大会議室	○「少子化における高年齢船員への期待について」 講師：船員災害防止協会顧問 神田一郎氏
九州	9月12日(木) 13:30～	オリエンタルホテル福岡 博多ステーション 3階「オリエンタルボールルーム山笠」	○「荒天時の走錨による事故防止策について(仮称)」 講師：第七管区海上保安本部 交通部航行安全課専門官 西山巖 講師：運輸安全委員会事務局門司事務所 金子一
沖縄	9月2日(月) 14:00～	那覇第2地方合同庁舎1号館 2階大会議室	○メンタルヘルス～セルフケア講座～ 講師：(一社)日本産業カウンセラー協会沖縄支部 島仲ルミ子氏

○安全衛生に関する訪船指導の実施

月間期間中に、各地の港に停泊している船舶に訪船し、安全・衛生面での指導を行います。

○生存対策講習会（サバイバルトレーニング）の開催

海難発生時の非常時に備えて、ライフ・ラフトを主とした救命設備の正しい操作方法や遭難船舶からの安全な脱出方法、また救難信号類や非常用位置指示無線標識装置（EPIRB）等の確実な作動の確保及び誤発射の防止を含めた、生存技術知識の向上を図ることにより、船員の遭難による死亡災害事故を未然に防止することを目的とした、船員災害防止協会主催による生存対策講習会（サバイバルトレーニング）を実施します。

お問い合わせは、船員災害防止協会（03-3263-0918）まで。

○無料健康相談の実施

(一社)日本海員救済会、(一財)船員保険会、(独)地域医療機能推進機構、地方運輸局長が指定した医師等の協力を得て、全国各地で無料の健康相談所を開設するとともに、訪船による無料の健康相談を行います。

※詳細については、海事局ホームページ (http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk4_000006.html)
または 船員災害防止協会ホームページ (<http://www.sensaibo.or.jp/>) をご覧ください。